

2026 年 9 月 8 日
tenso 株式会社

越境 EC の支払いを「1 度」で完結する新機能 『Buyee One』を提供開始 ～越境 EC のコスト不安を解消し、商品購入のハードルを低減～

BEENOS グループで海外向け購入サポートサービス「Buyee（バイイー）」を運営する tenso 株式会社は、新たに越境 EC 購入における海外ユーザーの支払い手続きが 1 度で完結する新機能「Buyee One（バイイーワン）」の提供を開始いたします。

海外ユーザーが Buyee を通じて商品購入を行う際には、商品の購入依頼時の「商品代金の決済」と、「配送料の決済」の 2 回の決済が必要でした。そのため、海外ユーザーにとっては、最終的な支払い金額が商品購入時に確定しないという不安がありました。

本機能の提供により、「Buyee One」対象ストアにおける商品購入において海外ユーザーは商品購入時点で「商品代金、配送料・手数料、および対象となる関税・輸入税等」などを含む、越境 EC での購入で発生する支払い総額を確認し、支払手続きを完了することができます。商品購入時の心理的ハードルとなっていた費用負担に関する不安を払拭し、自国でのオンラインショッピングと変わらないシームレスな購買体験を提供します。

Buyee One は一部の国、地域及びストアから提供を開始し、対象範囲を順次拡大予定です。

越境ECの支払い手続きを
「1度」で完結する新機能
『Buyee One』を提供開始



■Buyee One 提供の背景

越境 EC の市場は世界的に拡大を続けています。2024 年時点で米中の消費者が日本から購入した金額だけを見ても前年比約 8.3%増の 4 兆 2,350 億円に達しました※1。

ボーダレスなオンラインショッピングは多くの国で一般的な消費行動となっている一方で、急速な市場拡大に伴い、近年は各国で少額輸入貨物に対する関税制度の整備・変更が相次いでいるほか、インフレや物流コストの増加を背景に国際配送料の引き上げも行われています。

越境 EC を利用する海外ユーザーにとって送料や関税額は商品購入を決定する上での重要な関心事項

【本件に関するお問い合わせ先】

BEENOS 株式会社 広報 Tel: 03-6824-9740 Email: pr@beenos.com

ですが、こうした状況を背景に、コストに対する意識は一層高まっています。

Buyee を通じた商品購入では、まずユーザーが Buyee に商品購入を依頼する時に商品代金の決済が行われ、日本国内の倉庫への商品到着後に送料や事前徴収関税の決済が行われます。

送料や関税については、購入前に高精度に金額を概算するツールを提供していましたが、「最終的な支払いがいくらになるのかわからない」という不確実性は、特に越境 EC に不慣れな海外ユーザーにとっては購入を躊躇する最大の要因のひとつとなっていました。

Baymard Institute による調査では、EC のかご落ち率は平均 70.22% と試算されており、その最大の要因は「購入忘れや購入意志の無いカート投入」を除くと、「高額な追加費用 (Extra Cost too high (shipping, etc.))」が 40%、「注文総額を事前に確認・計算できなかったこと」が 12% を占めています※2。

商品購入にかかる費用を確実にし、1 度の支払い手続きで購入が完結することは、ユーザーの購入判断を支える上でも重要なポイントになります。

Buyee は、これまでも海外ユーザーの購入コストへの不安を解消すべく、コストメリットの高い独自の配送プランの開発や、いち早い DDP (Delivered Duty Paid) を用いた配送の導入と、それに伴う関税の概算・事前徴収体制の構築を実現してきました。今回商品購入に伴う費用面の不確実性を軽減し、越境 EC での商品購入を自国でのオンラインショッピングと変わらない UX へと近づけるため、Buyee を通じた商品購入時に決済が 1 度で完結する「Buyee One」の提供を開始しました。

■膨大かつ更新性の高い配送実績データと AI で支払い手続きの「1 度化」を実現 : Buyee One サービス概要

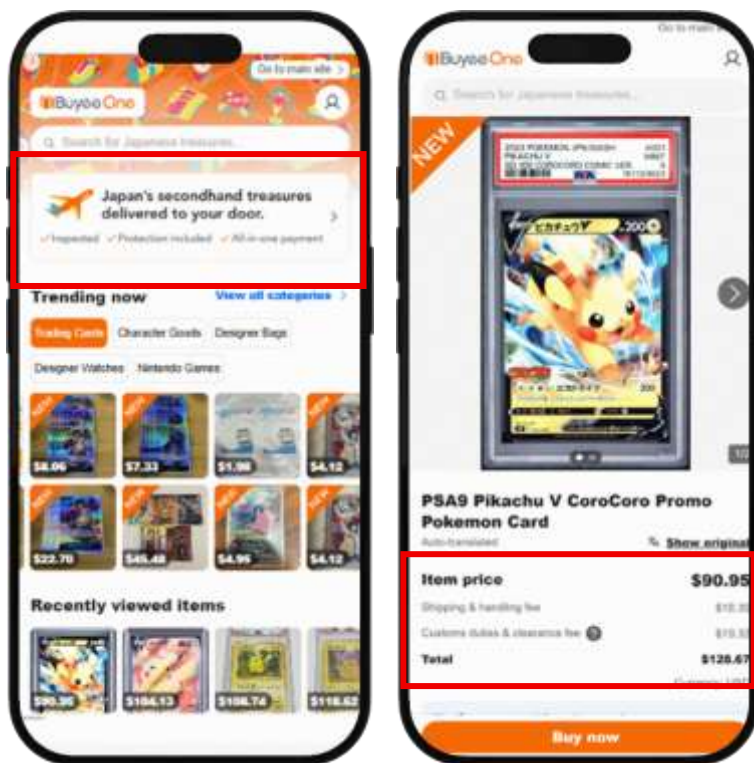
「Buyee One」は、配送料および関税額の事前予測により、これまで商品購入時と配送時に 2 回に分かれていた決済を、購入依頼時の「1 度」で完結させるサービスです。BEENOS グループが長年の越境 EC 事業を通じて培ってきた事業基盤とデータ資産を活用することで、Buyee One の提供を実現しています。

Buyee では、一般的な新品商品だけでなく、フリマサイトやオークション、リユース市場などで販売される二次流通品を含め、幅広いカテゴリーの商品を世界各地へ配送してきました。特に二次流通市場では、同一規格の商品だけでなく、サイズ、重量、価格帯、カテゴリーなどが商品ごとに異なる多種多様な 1 点ものの商品が流通しています。そのため Buyee には、特定のカテゴリーやジャンルに限定されない、幅広い商材の海外配送実績が蓄積されています。さらに、これらの配送実績データは日々の取引・配送を通じて継続的に更新されています。

こうした膨大かつ多様で、高い更新性を有する配送実績データをはじめとするデータ基盤と AI を組み合わせることで、送料・関税を高精度に事前算出する仕組みを構築することで「Buyee One」の実装が実現しました。

対象国・地域 : アメリカ (提供開始時)

対象ストア : JDirectItems Fleamarket (提供開始時)



※1 経済産業省「令和6年度 電子商取引に関する市場調査」
<https://www.meti.go.jp/press/2025/08/20250826005/20250826005.html>
 ※2 「50 Cart Abandonment Rate Statistics 2026」
<https://baymard.com/lists/cart-abandonment-rate>

■ BEENOS グループが目指す「日本の EC のグローバルスタンダード」

BEENOS グループは、「日本国内の企業が EC を展開するならば、越境 EC（グローバル対応）も同時に行うことがスタンダードになる」世界を目指し、これまで日本企業が越境 EC に取り組む際のあらゆるハードル（言語、決済、物流、カスタマーサポート）を低減してまいりました。

世界的に見れば、国境を越えた商品購入はすでに日常的な消費行動であり、その決済フローも国内 EC と変わらないシームレスなものが求められています。「Buyee One」の提供は、日本の越境 EC の UX を「世界標準」へと引き上げる取り組みの一環となります。海外ユーザーの購入障壁を極限まで下げることで購入率を向上させ、Buyee を導入いただいている日本の EC 事業者様のさらなる流通拡大に貢献してまいります。

■ Buyee について

「Buyee (<https://buyee.jp/>)」は海外ユーザー向けの購入サポートサービスです。海外のお客様は Buyee を利用することで日本の商品を簡単に購入できるようになります。購入手続きや海外発送手続き、多言語でのカスタマーサポートなどを行い、世界約 120 の国と地域（※）への対応が可能です。また、国内向けの EC サイトを越境対応にする「Buyee Connect」を無償提供しており、日本の EC サイト事業者様は運用・費用ともに低コストで海外対応を行うことができます。

（※）配送可能国・地域は、時期によって変動します。

【tenso 株式会社の概要】

- (1) 社名：tenso 株式会社
- (2) 代表者：代表取締役社長 直井 聖太
- (3) 本店所在地：東京都品川区西五反田八丁目 4 番 13 号
- (4) 設立年月：2008 年 7 月
- (5) 資本金：100 百万円
- (6) コーポレートサイト：<https://corp.tenso.com/>